

令和8年度全国学力・学習状況調査 埼玉県全体(公立)の調査結果概要

■調査の概要

実 施 日 令和8年4月23日(木)

※中学校英語は、「聞くこと・読むこと・書くこと」が令和8年4月20日(月)から23日(木)のうちいずれか1日、「話すこと」が令和8年4月28日(火)から5月29日(金)のうちいずれか1日、CBT(Computer Based Testing)で実施。

調査対象 以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

調査実施児童生徒数

【小学校調査】55,178人(さいたま市を含む)

44,317人(さいたま市を除く)

【中学校調査】50,529人(さいたま市を含む)

41,039人(さいたま市を除く)

※実施児童生徒数が一番多かった教科の人数としています。

児童生徒に対する調査

1 教科に関する調査

(1)小学校調査 国語、算数

(2)中学校調査 国語、数学、英語

※以下の①と②を一体的に問う問題が出題されている

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

2 質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

■埼玉県の学力調査結果の概要（教科ごとの平均正答率・平均IRTスコア）
（さいたま市を含む）

（単位：％）

校種・学年	年 度		国 語	算数・数学	英語	
小学校 第6学年	R 8	県	6 3	5 7		
		国	6 0. 9	5 6. 4		
	R 7	県	6 8	5 8		
		国	6 6. 8	5 8. 0		
中学校 第3学年	R 8	県	6 6	5 9	4技能 I R T スコア	9月以降 公表予定
		国	6 3. 9	5 7. 0		
	R 7	県	5 5	5 0	R 5 (%)	4 6
		国	5 4. 3	4 8. 3		4 5. 6

※ 文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示す。

※ 平成29年度から、国からの都道府県別の平均正答率における全ての公表・提供資料は整数値に変更されている。

※ 令和8年度中学校英語の調査結果については、国から9月以降に英語4技能の結果が返却された段階で、県の結果を公表する。なお、中学校英語のみ、I R Tスコアで示される。

※ I R Tスコアとは、

- ・ I R T（項目反応理論）に基づき、問題の難易度、正誤パターンの状況等から推定し、500を基準にした得点で表示した値。（理想的な正規分布の場合、平均500、標準偏差100となる。実際の各生徒のスコア状況により変動。）

- ・ 各教科にC B T・I R Tを導入する年（中学校理科：R 7、中学校英語：R 8、国語、算数・数学：R 9）の全国平均を基準とし、経年比較が可能な形で算出。

※ 令和5年度中学校英語の調査結果は、「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」の合計を集計した結果を示している。

（参考 さいたま市を除く）

（単位：％）

校種・学年	年 度		国 語	算数・数学	英語	
小学校 第6学年	R 8	県	6 2	5 6		
	R 7		6 7	5 7		
中学校 第3学年	R 8	県	6 6	5 8	4技能 I R T スコア	9月以降 公表予定
	R 7		5 5	4 9	R 5	4 5

◇用語説明

「教科ごとの平均正答率」

それぞれの平均正答数（児童生徒の正答数の平均）を設問数で割った値の百分率（概数）